

進路指導室から 第325号

はじめに

新年度が始まり1か月が経過しました。何かしら心地よい匂いが伝わってくる季節になりました。

さて、入学当初は、特別教室の場所がわからず右往左往していた1年生も、ようやく落ち着きが見えるようになりました。また、2年生・3年生も学年が上がり、何だかそれらしい学年に見えてきました。連休が明けれるとしばらくは大きな行事はありません。少しずつでも前に進めるよう、日々の生活を大切にしてもらいたいと願っています。

「合格者体験記」について

今回は、「後輩へのアドバイス」についてです。いずれも素晴らしい内容でした。皆さんの温かいメッセージはきっと後輩たちに伝わるはずです。

- 受験勉強を通して、たくさんの人に支えられていることを改めて実感しました。特に私は塾に通っていなかったため、基町の先生と友達にたくさんたくさん助けてもらいました。勉強のことや進路のことで悩んだり、迷ったりしたときに頼れる先生と友達が側にいる、こんな恵まれた環境はなかなか無いと思います。先生や友達からもらったアドバイスを大切にしてください。また、前向きな気持ちで取り組むことも重要だと思います。私はしんどいとき、家族や先輩、後輩から頂いたメッセージを読み返したり、机の上に置いたりしていました。不安な気持ちの時は、やっぱり勉強もはかどらないので、何か御守りになるものを持ち歩いて、不安になったとき、「大丈夫」と気持ちを切り替えることができるようにしておくことをお勧めします。皆さんの夢が叶いますように…！応援しています!!! (北海道大学文学部人文学科)
- 私は3年間、まったく予備校に通うことなく京都大学に現役合格しました。予備校なしで合格するのに必要となるのは、第一に、基町の授業に対して100%の集中で臨むことです。基町の先生方の授業を逃してしまうほどもったいないことはないと思います。第二に、積極的な自学自習です。最近では、インターネットで参考書を調べることができますが、先生や先輩に相談してみたりしてください。受験勉強中は、辛いこともありますが、これほど自分に真剣に向き合うことのできる期間はありません。是非、納得のいく受験生活を送ってください。(京都大学工学部工業化学科)
- コロナで私は頑張ってきた部活を急に引退し、受験期に自分は何もやりとげていないのではという不安があったので、何か大切なことを勉強以外にもやり切りたいです。受験は長距離走のようなものでもあり、最後に全力ダッシュを求められるような経験でした。身体をいたわり心身は健康に、そして自分が主役であるという気持ちで仲間と頑張りきることを皆さんができたなら嬉しいです。周りの人に相談しながら、最終的に自分が納得し後悔しない選択ができることを祈っています。(京都大学医学部人間健康科学科)
- 糖分はとても大事です。模試の時に急に頭が働かなくなることが続いていて悩んでいた時期がありましたが、休憩時間に黒糖や氷砂糖を食べて臨んだら解決しました。脳の栄養はグルコースだけです。是非、試してみてください。授業を大切にしてください。新しく学んだことを身につけるにはそれが一番です。後回しにしたら受験直前に辛いだけなので一日一日を大切に。(京都大学農学部資源生物科学科)
- 私は塾には行っておらず、3年間の学習の中心は学校から出された課題でした。学校での教材販売を除いて、自分で国・数・英の問題集を買ったことはほぼなく、学校がセレクトしてくれた週課題用の教材だけを愚直にやっていました。もちろん、それだけで足りないと思えばもっとやることは大切だと思いますが、まずは学校の用意してくれた教材をちゃんとやるのが大切だと思います。それだけでもかなり力はつくようになっていたんだと、私も書きながら思い返しています。基町の課題は質も量も一筋縄にはいきませんが、だからこそ、これだけでも続ければ、十分強くなれます。(大阪大学人間科学部人間科学科)
- 「現役生は直前期に伸びる」は本当だと思います。(私も共通テストが自己最高点でした。) 1・2年生の時に決められたことを全部、格好が悪くてもやりきった人だけに当てはまるものだと思います。直前期の時間に追われて焦っている時に、教科書の読んだことのないページや問題集の解いたことのない問題の解法を覚える

のは、エネルギーを使うし余計に焦ります。でも、高校に入ってから一度でも見たり理解したことのあるものは、覚えるではなくて思い出して定着させる作業になるので詰め込みも加速します。（「人は7回忘れたことは忘れない」と聞いたことがあります。）1・2年生は受験の意識を常にはもちにくいし十分に忙しい日々ですが、出された課題と授業と復習に妥協なく取り組めば後から救われるはずだと思いました。あともう一つ。先生と仲良くなりましょう。秘訣はその教科が得意になりたいと思うことと授業を集中して受けることです。後ろめたさにも遠慮もなく、どんなささいなことでも質問・相談しやすい先生の存在は、とてもとてもとても大事だったと強く思います。自分で考えるのも大事だけど、悩みすぎるのは逆効果なので、先生を頼りに頼って、理解を増やす近道にしてください。（神戸大学文学部人文学科）

- “受験は団体戦” その言葉を聞く度に、実際に試験を受けるときは一人なのになあと感じていました。この一年を終えて振り返ると、紛れもなくその言葉通りでした。休校中、一人で勉強するのは辛かったけれど、学校が始まると、朝早くから、そして下校時刻まで、ずっと頑張っている友人を見て、自分も頑張ろうと思えました。廊下で会うといつも気にかけて励ましてくださった先生方、時間を削って熱心に添削指導をしてくださった先生方、そして支えてくれた家族、その人たちに少しでも感謝を伝えたいという思いが頑張る原動力になりました。皆さんも、これから辛いことや大変なことがたくさんあると思いますが、周りの人への感謝を忘れず、最後まで自分を信じて諦めずに頑張ってもらえればよいと思います。（神戸大学法学部法律学科）
- 最後まで基高の先生方を信じて取り組むのが最善だと感じました。私は3年間体調を崩すことなく、心身ともに元気に過ごせましたが、これが一番大事だと思います。学校に来ることで仲間からの刺激を受けたりします。私は共通テストで目標としていた点数がとれませんでした。前期に向けて学習に励むことができました。前期でも数学で1つも完答できず落ちた気持ちでいて、後期に励んでいました。とにかく最後まで諦めずにやりきるべきです。（神戸大学国際人間科学部グローバル文化学科）
- 勉強の難しいところは、「勉強しなければ、勉強の大切さに気づかない」ところだと思います。3年生になって、1年生の時に「英文は音読しなさい」「現代文の記述には本文に書いてあることを書けばいい」と言われていたことの本当に意味に気づきました。これに気づくには、演習量→勉強量の積み重ねが必要だと思います。そして、先生の言葉の意味、参考書の解説の意味みたいなものに気づくと、そこから学習効率、成績の伸び率が爆上がりします。その高度成長期を少しでも早めに迎えるには、やっぱり周りが勉強していない1・2年生の時の積み重ねが重要です。（奈良女子大学文学部）
- 勉強する時、その勉強によってどのような力をつけたいか考えて行うことが大切だと思います。例えば、国語の記述問題を解く時は自分が納得できるまでじっくり解答を練り、完成度の高い解答をつくれるようになることが目的であるなら、時間を気にする必要はありませんが、すばやく解答をまとめる力をつけたいのであれば、きっちり時間を計って行う必要があります。勉強する際は、目的を明確にし、それに合わせた取組を行うことが大事です。（広島大学教育学部第三類（言語文化教育系））
- 実技対策を早く始める人は、勉強との両立が難しいかもしれませんが、先生方の力や実技模試の力を借りながら、「やることはきちんとやる」というのを意識して乗り越えてください。それを乗り越えられた人は、いい結果でもよくない結果でも自分に何かしらいい力がつきます。受験対策に力が入らない、やる気が起こらない、実感が湧かないなどさまざまな悩みや点数が上がらず落ち込むこともあるかと思いますが、大学生になって大学で勉強している自分の姿を想像しながら頑張ってください。時には休むことも必要なので、頑張りすぎには注意が必要です。先輩に相談する機会があれば、遠慮なく相談していいと思います。私も先輩方にとっても助けていただきました。周りの友だちと気持ちを高め合って頑張ってください。応援しています。（広島大学教育学部第四類（生涯活動教育系））
- 勉強時間が少なくなるなど部活には不安もつきものだと思いますが、得られるものはたくさんあるので、是非、最後までやりきって欲しいと思います。自分は塾には行っていませんでしたが、基町の先生方の授業はわかりやすく、わからないことがあっても、丁寧に教えてくださるので問題はありませんでした。基町高校というすばらしい環境をフルに活用して、最後まで諦めずに頑張れば、結果はついてくるはずですよ。（広島大学医学部医学科）
- 「受験=苦しい辛い」ものではありません。結局最後に大事なものは体力と精神力。何があっても前向きに考え続けることが最後まで頑張り続けるうえで最も大切です。いくら模試で成績が悪くてもそれが本番ではないのですから。次に、前回の自分よりも成長できたらそれでいい。自分がやったこと以上の力は発揮できません。

“息をするように勉強する”意味がだんだんわかるようになります。受験は何も特別なものではなく、ただ志望する所へ行けるよう勉強するだけだから、気負う必要もなく結果にこだわりすぎる必要もありません。淡々と過ごしていけば必ず入試の日も合格発表の日も来ます。自分一人にできるのはただただ毎日を大切に過ごしていくことだけです。しなやかに、のびやかに、踏んばれ。(広島大学医学部保健学科看護学専攻)

- 問題を解いてわからないことがあってもすぐ他人に質問しないことをおすすめします。質問ばかりしていると思考力が身につけません。時間が長くなっていいからじっくり自分で考え、わからなかったら教科書や参考書を見て理解する。それでもわからなかったら質問する、という風にすれば学力が定着していくと思います。また、どんなに友達の成績が良くても自分を卑下する必要はありません。しかし、過去の自分に負けるのは最悪です。昨日の自分よりも少しでも「できた」が増えれば自分の夢が叶うのです。(九州大学工学部VI群)

「保護者対象進路研修会」について

4月23日(金)付の文書でご案内させていただいたように、今年度は以下の日程で「保護者対象進路研修会」を行う予定です。

【概要】

回	日 時	内 容	主とする対象学年
1	5月17日(月) 15:20~16:50※1	・ 大学入試の基礎知識 ・ 文理選択について	1年生
2	6月14日(月) 16:00~17:30※2	・ 最難関大(東大・京大)入試について	1年生
3	9月18日(土) 14:00~15:30	・ 難関大入試について	2・3年
4	10月16日(土) 14:00~15:30	・ 医学科入試について	全年生
5	12月4日(土) 14:00~15:30	・ 2021年度入試の動向について	3年生
6	2月19日(土) 14:00~15:30	・ 2022年度入試に向けて	2年生

※1:15:20~16:20は1年生生徒全員が参加 ※2:16:00~17:00は1年生希望生徒も参加

なお、以下にて、「第1回保護者対象進路指導研修会」を行います。

日 時	: 令和3年5月17日(月) 15:20~16:50
場 所	: 本校講堂
内 容	: 「大学受験の基礎知識・文理選択について」(予定)
講 師	: 河合塾 西日本営業部 部長 毛利 美佳 様

5月10日(月)から進路指導室前に申込用紙を用意しておきますので、必要事項をご記入の上、お子様を通じて進路指導室部にご提出してください。(申込手続きなしのご参加はご遠慮ください)

「日本学生支援機構予約採用奨学金」について

4月26日(月)に生徒対象の説明会を行い、日本学生支援機構予約採用奨学金の概要と校内での手続き等について伝えています。書類等の第1回目提出期限は6月11日(金)です。なお、第2回目は7月9日(金)です。期限に遅れないようご準備のほど、よろしくお願いたします。なお、詳細につきましては、当日配付しました冊子並びに日本学生支援機構のホームページでご確認ください。

終わりに

先日、バスに乗って立っていたところ、若い人から「どうぞ」と席と譲られました。いつの間にかそんな年になっていたのかと複雑な心境になりました。

(文責:進路指導部 池本 邦彦)